

さきたま古墳群再調査(行田市)

白山愛宕山古墳(行田市)

稲荷山古墳の墳頂から北の方向を見ると白山愛宕山古墳とその向こうに神明山古墳が見える



拡大写真

白山愛宕山古墳



神明山古墳



墳丘を下りてその方向へ向かう



前方が白山愛宕山古墳/円墳/6世紀中頃の築造



白山愛宕山古墳
↓

神明山古墳
↓



白山愛宕山古墳

この説明板の前に位置する小さな塚が白山愛宕山古墳です。白山愛宕山古墳は、埼玉古墳群（白山古墳群）を構成する小円墳で、墳頂部に愛宕神社が祀られていることから、地元では「愛宕山」と呼ばれています。

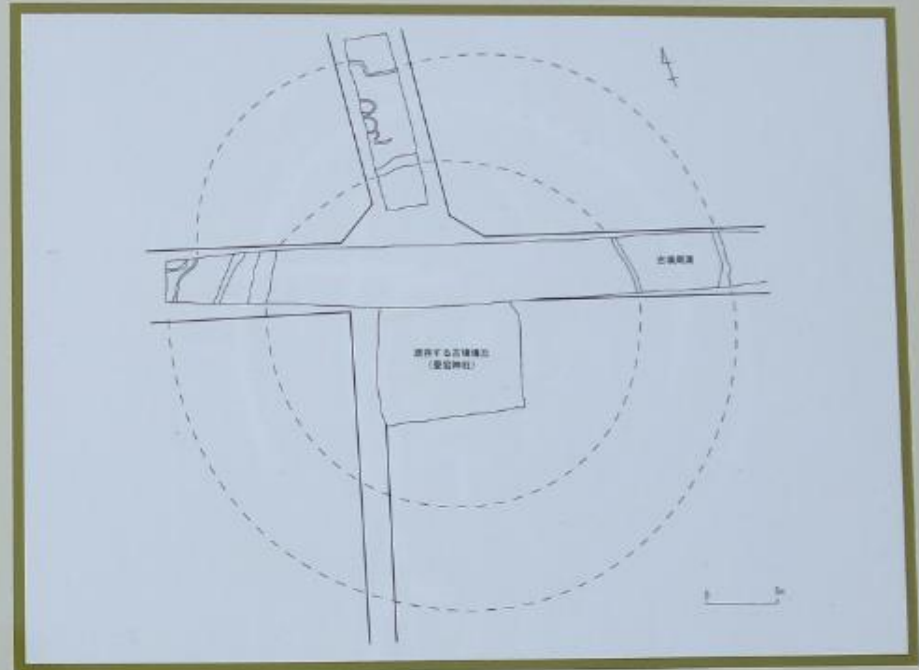
これまでに2度発掘調査が行われており、その結果、6世紀中頃に築かれた直径約27m（周溝も含めると直径約40m）の円墳であることが判明しています。

発掘調査では周溝から円筒埴輪、人物埴輪、8世紀中頃のものと思われる須恵器等が出土しており、築かれた当時は、墳丘を一巡するように埴輪が樹てられていたものと思われます。

残念ながら墳丘が大きく崩されて失われており、現在では墳丘の約1/4程度が残るのみとなっています。

埼玉古墳群の大型古墳の陪塚的な小円墳ではないかと思われます。

周辺には他にも同じような小円墳が多く築かれていたようですが、本古墳とその北側に位置する神明山古墳以外は全て墳丘が崩されて失われており、墳丘が残る数少ない貴重な小円墳と言えます。



平成24年

行田市教育委員会

南面から見る



境頂に祠がある



西面から見る



北面から見る



東面から見る



神明山古墳(行田市)

これは神明山古墳/円墳/南面から見る



反時計回りに廻ってみる



東面から見る



北面から見る



墳丘の裾



西面から見る



墳丘の裾



墳丘の裾



白山古墳(行田市)

正面は白山古墳/円墳/7世紀前半頃の築造とされる



南面から見る



ここは白山姫神社となっている



説明板がある



説明板の下に積まれている人頭大の角閃石安山岩は石室の壁材とされる

ぎょうだ歴史ロマンの道

白山古墳

この古墳は、埼玉古墳群の北端に位置する直径約50m、高さ5.7mの円墳です。墳丘の一部に白山姫神社がまつられていて、その東側に横穴式石室の奥壁と思われ^{りよくでいへんがん}る緑泥片岩が露出しています。また、社殿前の石段右手に積まれている人頭大^{かくせんせきあんざんがん}の角閃石安山岩も、石室の壁材であると言われてい

ます。発掘調査が行われていないため、不明な点が多い古墳ですが、7世紀前半頃の築造と推測されており、埼玉古墳群終末期に位置する古墳であると考えられています。

7世紀前半としては卓越した規模の古墳で、埼玉古墳群の最高首長墓の変遷と、古墳群の終焉を考える上で、非常に重要な古墳であると思われます。

行田市教育委員会

墳頂にある白山姫神社社殿









墳頂は社殿のために削られている



墳頂から西方向を見る



左手に石材が埋まっている



この石材は横穴式石室の奥壁と思われる緑泥片岩とされる











墳丘の斜面を見る





西面から見る



北面から見る



近づいて見る



墳丘の北側斜面の裾を見る



墳頂を見上げる



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/gyoda_naganoatago/

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/gyoda_hakusan/

<http://www.bell.jp/pancho/travel/saitama/hakusan%20kofun.htm>

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/gyoda_zinmei/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/68_gyda/taigan.html

<http://www.geocities.jp/fukadasoft/kofun/bangai/index.html>

